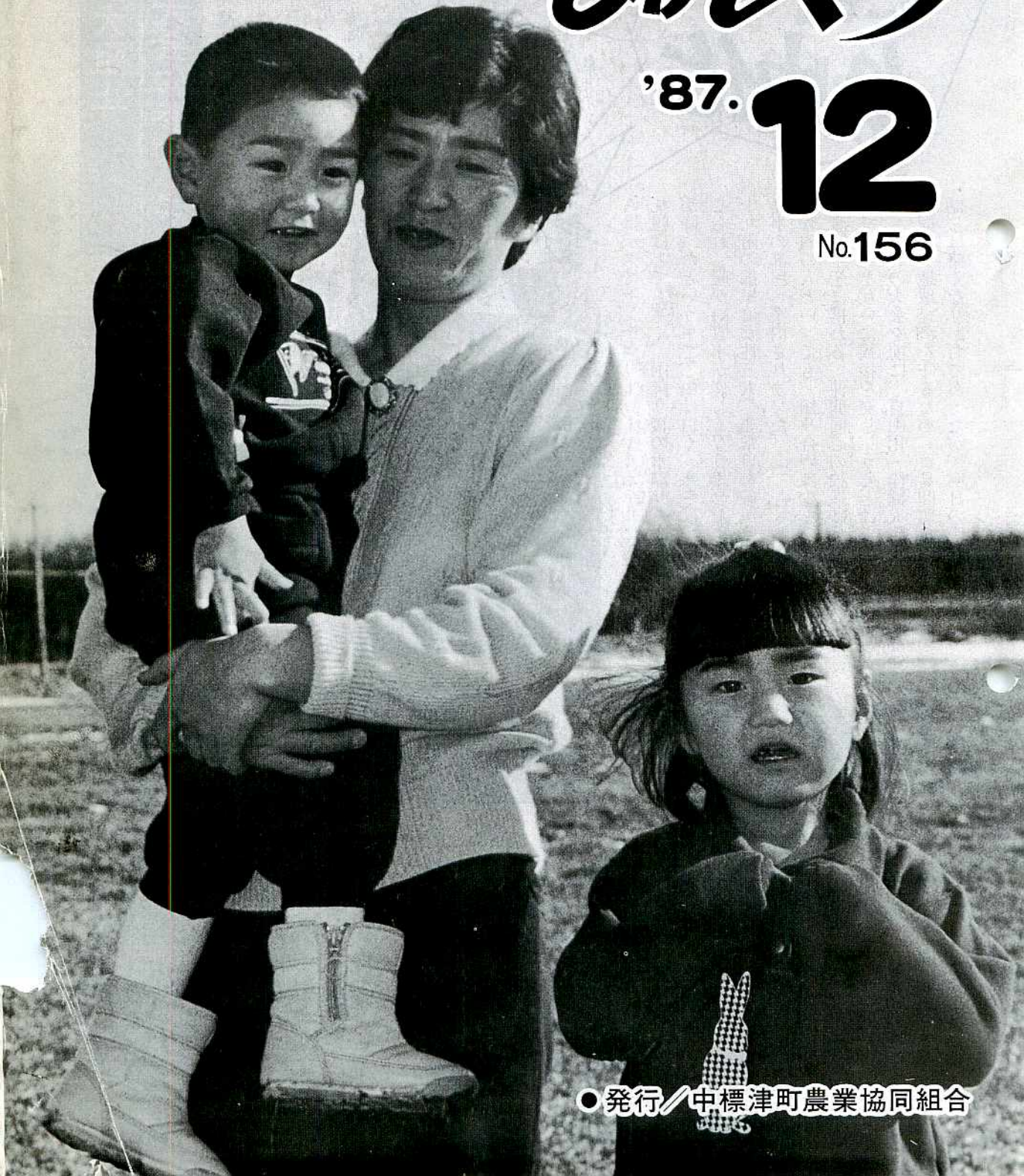


のうきよう ちがしづ

'87. **12**

No.156



○発行/中標津町農業協同組合

自由化枠拡大阻止

全道総決起大会に参加して

中標津町農協婦人部々長 遠藤 春子

農畜産物輸入自由化枠拡大阻止全道総決起大会が、十月二十三日午後一時から、札幌市中央区大通り八丁目、大通り公園内で行なわれ、参加者三千二百人が集り、市民に正しい農畜産物への理解を訴えた。参加割当人数は、全道で三千人、管内五十人、中標津町農協で五人の割当があり、鷲見孝氏、長正路清氏、安達勉氏、藤井美智夫氏と私が参加しました。

出発は前日の夕方、根室管内一緒になり、中標津から空路札幌へ、空港か

米国の圧力 に許すな 自由化



らはバスでセンチュリーロイヤルホテルに着きました。札幌はとても寒く、雨降り後の水溜りもあり、昨日、雪が降ったという事で、山は白く、寒さは一段と肌身に感じられ、暖かい食事が恋しくなりました。ホテルでは、十九階の部屋に女性三人、非常口を確かめる間もなく、食事の部屋へ案内されました。

管内の人といっても、知り合いは少ないのですが、農畜産物生産に携わる、仲間同志の挨拶は、「いやー御苦勞様です」と互いに挨拶を交し、うちとけて笑顔が浮びます。明日の大会を前に、自由化・枠拡大阻止への意志は皆同じ、地域経済を守るため、貿易問題をめぐる情勢の話は暗くなりがちであったが、明日の決起大会には、

各地で自由化阻止 決起大会開催!!

根室地区輸入自由化阻止 決起大会開催 自由化絶体阻止 に熱こもる!



農畜産物輸入自由化阻止決起大会が去る十一月二十八日、別海町福祉センター前で開かれ、寒風の中、プラカードや鉢巻

ぶい!!



根釧の農協青年部も合同で決起大会

アメリカの強行策に抗議!!

根室、釧路地区農協青年部合同の「アメリカ農畜産物輸入自由化阻止決起大会」が十一月二十七日、定例根釧地区農協青年部大会開催中の川湯温泉、川湯第一ホテル前で行われた。ひつ迫する事態に急ぎよ、大会の昼食時に決起大会を行なったもので、小雪まじりの中、白築政博根室地区農青協会長がカットのパネル協議、交渉、抗議行動など、経過報告し、力強く挨拶を行なった後、デモンストレーションで黒舟に見たてたりばてを国産トラクターで押しつぶし、強行な米国の圧力に抗議、シュプレヒコールで氣勢を上げ、団結して「輸入自由化は絶対に阻止する」事を確認し合った。

はち巻で頑張ろうと張り切っていた。食事が終る頃には体も暖かくなり、根室地区婦人部代表の響幸江会長が挨拶、「明日の全道総決起大会には、生産者代表として、皆さんで頑張ろうと団結を誓った。」

二十三日は、朝から晴れて白い雪景色の山々は良く見えました。午後からの大会が雨や雪にならぬ様、空模様を眺め、祈る気持でした。晴れ間でも、外の風は冷たく、冬

仕度が欲しかった。大会ではホクレン伊藤肇五郎会長が挨拶に立ち、「道民総ぐるみの団結」を訴えた。また、各団体代表が決意表明をした中で、根室管内標津町農協理事の佐々木喜一郎さんが「自由化は絶対許さない」と管内代表として、固い決意表明で大会を引き締めた。大会後は、全員で市内をデモ行進、アイデアを懲らした大小のプラカード

足止めした。各地区、趣向を懲らした中で、根室地区は、残念ながら、アイデアが乏しかったが、中標津町農協は事務局がアイデアを懲らしたはち巻、ゼッケンで堂々と行進し、「良い食料と食料」と参加者全員で市民に訴え、行進を終えた。

街行く市民や報道のカメラを通して見聞きした人達は、農民達の心をどうキヤッチしたでしょう。



自由化に反対する 寒気も吹き飛

き姿で集まった生産者が「根室農業を守る為―自由化反対」を強く訴え氣勢を上げた。

この日の大会には管内五市町村から、生産者、商工、婦人代表など四百人以上が参加、根室地区酪農対策協議会の及川利之会長が「農産物輸入自由化は、根室農業の崩壊地域経済を根底からゆるがすと訴え、輸入自由化を断固粉碎しよう」とあいさつ。

根室地区農協青年部連絡協議会の白築政博会長が情勢報告した後、河合隆根室支庁長、村田雄平道議ら四人が連帯のあいさつをした。

また、脱脂粉乳やでん粉等を積んだ米国からの黒舟(はりばて)をトラクターでおしつぶし、参加者全員が「農畜産物輸入自由化反対」のシュプレヒコールを繰り返し、大会を終えた。

根室管内農業賞

晴れやか遠藤幸吉さんご夫妻受賞

昭和六十二年(第十一回)の根室管内農業賞の表彰式が、去る十一月十九日に、中標津町菊の苑で行われた。この賞は、農業協同

組合運動の功績が顕著であるもの、農業経営の実践活動に顕著な成績をあげた人達を対象に、農協の推薦を受け、今回受賞されました。



ご夫人と同伴し、表賞を受ける遠藤さん

功績
昭和七年宮城県から、中標津町侯落に両親と共に入植し、農業に従事した。昭和二十二年妻サトさんと結婚し、現在地に分家、独立

した。分家当初は、畑・酪複合経営であったが、昭和四十七年より酪農専業農家として堅実な経営を行い、地域に範を示した。大型農業機械の導入が

- 受賞者**
- 遠藤 幸吉氏 (中標津町農協)
 - 蛭田 忠吉氏 (計根別農協)
 - 菊地 正一氏 (西春別農協)
 - 刀禰谷 齊氏 (中春別農協)
 - 松田 米生氏 (別海農協)
 - 齊藤友三郎氏 (根室農協)

必要となった頃、部落に共同利用を進め、利用組合長として効率的活用にも成果をあげた。地域の信頼も厚く、昭和三十三年、農協理事に就任し、農協経営が多難な時代に、六期十八カ年の永きに亘り努められ、特に農協澱粉工場の運営、移転問題など苦難をのりこえ、この間、副組合長、澱粉工場運営委員長として、多大な努力を払われ、今日の農協事業の基礎を築かれた。また、地域にあつては、侯落連合会長、PTA会長等を歴任され現在も町議会議員として活躍しており、地域社会の発展と農協運動に多大な貢献をされた。



受賞されました方々

ホットカップル

西垣 努君
真由美さん



今月のお二人は、西垣務君、真由美さんです。十一月十五日、ウエディングプラザ寿宴において、松田昌介様御夫妻の御媒妁によりめでたくゴールイン。祝賀会にはたくさんの方が出席、祝福されました。努君は、西当幌地区の西垣丈夫さんの後継者、酪農ヘルパーの要員ですから顔見知りの方もいるはず、明るい性格ですがちょっと甘えん坊、真由美さんは農協に入って二年目、ストアーのレジにいて、いつも笑顔でお客様と接しています。半年彼女が年下、でも落ちついてる感じ。

「知り合った気っ掛けですか。二人共、まきば(町内の若者の親睦団体)の会員で、キャンプに行った時知り合って、飲み誘ったりするうちに...」

彼女の趣味は、料理を作る事とか、本当にウラヤマシイ努君、若い二人のこれからの永い道のり、互いに助け合って、明るい幸せな家庭を築かれるよう頑張ってください。

こんなに手軽に できるんですヨ!!

去る十一月七日(土)農協婦人部では、乳製品の消費拡大事業の一貫として、Aコープ中標津店において、乳製品を利用した手作り料理を、訪れた買物客に試食してもらいPRを行なった。

今回、手作りしたものは「チーズ・フォンデュ」、「フルーツ・ヨーグルト」、「チーズの揚げ菓子」の三点、組合員の方々は、良く知られる様になったこれらの料理も消費者には、まだまだなじみも薄く、「クッキングブック」を作製し、PRに務めた。フルーツ・ヨーグルトは、人気があり、チーズ料理にしても、「チーズはチョットねエ」と遠慮がちの人も、勧められ、口にして思わず「アラ!! おいしい」という声も聞かれ、チーズの種類、作り方を熱心に尋ねる人もいた。部員も慣れない接客や長時間に渡る立ち仕事で、疲れた様子でしたが、直接、消費者と接し、その反応に、このPR活動の大切さを肌にしたようです。今後、さらに活発な活動が期待されます。

農協婦人部
Aコープ中標津店で
買物客に乳製品を
使った料理でPR!!



チーズの揚げ菓子

*作り方

- (1) 溶けやすいようにチーズを適当に細かく切る。
 - (2) ギョウザを作る要領でチーズをギョウザの皮で包む。
 - (3) 油でカラリと揚げる。
- ここがポイント!! 油の温度は中温より高めで。

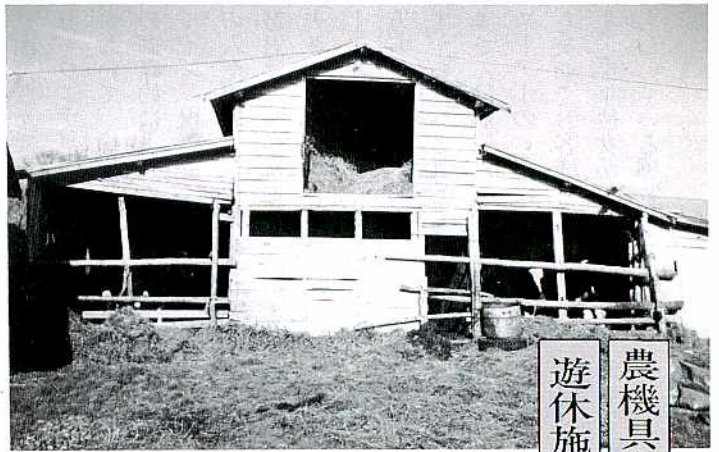
★材料

- チー ズ.....適量
- ぎょ う ざ の 皮.....1袋
- 揚 げ 油.....適量



肉牛視察 映像

十一月七日、営農、生産部の職員八名が厚岸町尾幌の肉牛専業農家、高橋牧場を視察研修しましたので概要及び経営方針、印象等について御報告いたします。



厚岸町、高橋牧場遊休施設

農機具庫を活用した育成舎、遊休施設などムダなく工夫

はじめに、この視察は、近年の酪農、畑作情勢の悪化による所得の減少分を、比較的安定して推移している肉牛部門を経営に取り入れることにより、安定経営への道を探ろうと企画されたものです。

高橋牧場は厚岸町尾幌にあり、家族は初代の仁作さん夫妻と二代目の栄作さん夫妻、それに幼児が三人という構成になっております。経営面積は

十一ヘクタール、肉牛頭数、百十頭となっております。肉牛の品種は、ホルのヌキ、未經産、経産から日本短角、和牛、和牛とホルのF1とバラエティに富んでいます。これは、それぞれの肉値に変化があっても、危険を分散することを可能とし、経営収支を大きく変えることなく、安定したものとするためのようです。

素牛は、当初ヌレ仔導入から始めていましたが、リスク(死亡・故障)が大きく、現在は二百五十〜三百キロ程

12月10日→12日

予告

新設

オープンフェア

洗車カード会員
募集中!!

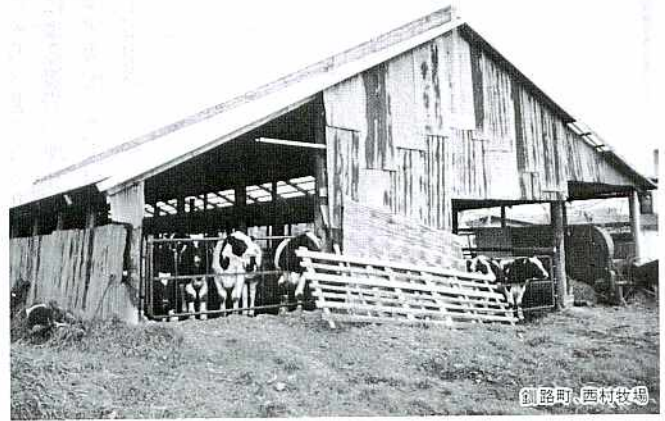
ご利用
お待ちしております!!





厚岸町、高橋牧場農機具(車庫)利用

度のもを地元の酪農家並びに各地で聞かれる市場で購入しています。販売は全て系統及び市場で処理するほか、各地で聞かれる展示会のセールを利用してきます。これは高橋牧場の高度な肥育管理技術がバイヤーに浸透しているため、一頭当りの価格が平均よりも一万円〜十数万円の高値で取引されているのが現状です。施設は五棟ありますが、そのうち三棟は車庫等の老朽化した施設であり、他の二棟も電柱や廃材を利用したもので安く仕上げられており、たいへ



鎮西町、西村牧場

ん参考となるものでした。

最後に高橋家の人々は肉牛を扱うのであれば、どうしたら有利に販売出来るか、絶えず研究することが大切で、そのために新聞、雑誌、その他の情報を的確に捕え、経営に反映させる努力が必要と話されておりました。このような経営姿勢は、混迷する農業情勢を思慮するとますます農協、組合員に要求されてくるように思います。この視察で得たものを組合員の皆様へご紹介するには、紙面が足りない訳ですが、詳しい事は相談課担当まで問い合せ下さい。

昭和62年度 根室生産連家畜市場価格 (11/4.11/11.11/18.11/25)

「売り易く買い易い」をモットーに、毎回多数の家畜が市場に出場しています。

◎場 所 中標津町南中
◎定期市場 毎週水曜日
◎セリ開始 午前10時

種 別		区 分	上場数	成立数	売 買 金 額	平 均	最 高	最 低
乳	育 成 (12ヶ月以下)		24	23	4,516	196	349	120
	育 成 (12ヶ月以上)		63	54	15,955	295	480	164
牛	初 妊 牛		213	189	94,327	499	700	298
	経 産 牛		63	46	18,605	404	551	278
	小 計		363	312	133,403	428	700	120
肉	初 生 ト ク		30	29	3,192	110	147	33
	牡 ト ク		100	66	12,722	193	330	50
	去 勢 (12ヶ月以下)		102	98	24,796	253	314	60
	去 勢 肥 育 (12ヶ月以上)		5	5	2,109	422	500	20
牛	育 成 牛		295	236	61,793	262	396	20
	未 経 産 肥 育 牛		2	2	841	421	460	378
	成 牛		452	387	99,791	258	516	126
	小 計		986	823	205,244	249	516	20
そ の 他 (馬・羊他)			0	0	0	0	0	0
生 産 連 市 場 計			1,349	1,135	338,647	298	700	20



農協貯金者による 素晴しかった常夏のハワイ旅行

あるハワイ島の二島を訪れました。

ホノルル空港に到着、早速「レイ」による歓迎をうけた後、アロハ航空でハワイ島のコナへ飛びました。

ハワイ島では数年前の噴火による溶岩の塊り、又キラウエア火山の噴火口では、一瞬宇宙中継で見た「月面」を想わせる様な勇壮な眺め、溶岩が海水に侵蝕されて出来た黒砂海岸、更に美しい蘭が栽培されている庭園等を観光しました。

オアフ島では、ホノルル市内の観光、第一次大戦からの戦没者約二万人が眠るパシフィックの丘、強風の名所ヌアヌパリ、ハワイ王朝カメハメハ大王のイオラ二宮殿等の名所遺跡を、更にオアフ島内観光では南国の自然、一面

今年度の海外旅行を常夏のパラダイスと云われるハワイを選び、参加者を募りましたが、総勢二十四名の参加により、去る十一月十三日出発、十一月十九日帰国の日程で無事終らせて頂きました。ハワイ諸島は、数千万年前、海底火山の爆発により出現した八ツの大きな島、いくつかの小島からなっていますが、今回は州都ホノルルのあるオアフ島と、有名な活火山であるキラウエア火山の

に広がるパイナップル畑の広大な風景に、一同感銘をうけておりました。車中ガイドの説明によると、ハワイの主要作物であった砂糖キビの栽培が価格の低迷等により、島内に五ヶ所あった工場が今では一工場となり、手入れをやめ荒れた砂糖キビ畑が散見され、農業の厳しさの一端を見せておりました。

ワイキキビーチでは、サーフィンを楽しむ若者、海水浴をする人、浜辺で甲羅干しをする人、人種を問わず、又老若男女を問わずハワイでのバカンスを満喫しておりました。

ハワイは気候、景色とも優れているのに合せ、街全体、島全体が良く清掃されており、浜辺に行っても、山間部へ行っても空缶一つ見当らない非常に感じの良い所です。

今回参加されたすべての方が、この様に素晴らしい所に住んで見たい、或いはもう一度行って見たいと思われたのではないのでしょうか。農協では今後も毎年この様な企画を

持っておりますので、旅行のための積立として、農協貯金を大いに活用されますようにお奨めします。





ハウスの中、たくさんの菊に囲まれて

私の趣味④

東伏落 遠藤 サトさん

みごとに咲く菊が我子のよう

年をとるにしたがい、管理は大変だけど、花が咲く日を楽しみにして、見事に咲いた時の喜びは、またひとしおという遠藤サトさん（六十四才）にお話しを聞きました。

今年の第六回なかしべつ菊花展では、大輪厚物で町長賞を受賞されました。



菊の話に顔をほころぶ！

菊を育てるようになった切っ掛けは何ですか――

「昔は色々な花も育てていたんですが、息子が高校生の時、北見の「菊まつり」を見に行き、お土産に一鉢買って来てくれたんです。「お母さんは、花が好きだからきつと思つた」と言つてネ。その頃、計根別農校の先生が公民館で菊の育て方を指導していて、既にやっていた服部さんや板橋さんに勧められたりしてネ。本格的には、五十八の年、上春別の岸本さんのおじいさんに習つたんですヨ。」

――いま、どの位の数を管理しているんですか――

「種類は十二〜三種あり、平均二鉢以上あるから三十〜四十本ぐらいかしら。」

――管理など大変なんでしょうネ――

「花が終わったら鉢上げし、ハウスの露路へ移し、冬がこいをするの、凍らない様に気をつけたり、三日から七日に一度は日光を当てる必要もあるんですヨ。また、毎年培養土を新しくするので、雑木林等から土を持って来て、作るのが仲々大変、それを発酵させなければならぬし、二十kg入る肥料袋で三十袋ぐらい必要なんです。」

――土は繰り返し使えないのですか――

「町の人は、使っている様だけど、病気が心配だし、土は、いくらでもありますからネ。」（なるほど）

――それぞれ、育て方は違ふと思いませんか――

「毎年、鉢毎に記録をしているんですヨ。もう忘れっぽいから：いつ肥料をどの位や

つたとか、つぼみの持ち方やどんな花が咲いたかという具合に。」

――イヤ〜大変なんですね。育てるコツは――

「別にありません。自己流だし、習った人の考えはどうしてもあるでしょうけど。友達と顔を合わせると、菊の事ばかり、趣味はこれしかないんですよ。」と終始にじやかに話されるサトさん、チョット見るつもりでも、時間も経つのも忘れ、夢中になってしまふのだそうです。

管理は大変でも、苦労ではない様です。本当に趣味として楽しみで育てている事がわかりました。突然伺い、びっくりしたようですが、やさしくお話しを聞かせていただきありがとうございます。



町長賞に輝いた大輪厚物

昭和62年9月末成績

No.	種		牛 号	H		P		D		R%
	略号	名		円	M	SNF	SNF%	F	F%	
32	H-249	ビッグブーツメーカー	テルスター	31,805	260	26	0.05	17	0.10	96
33	H-260	ミラーゲッジ	アルティメイト マキシム	30,590	491	27	-0.21	13	-0.07	99
34	49-19N	ミソノ	コメット テルスター	30,336	326	25	-0.05	16	0.05	87
35	H-513	クオリティ	フォーメーカー フタゴ	30,230	370	33	0.00	11	-0.03	95
36	HB-90	ロングヘイブ	ン セクセーション フロイド	30,080	222	33	0.18	13	0.07	73
37	H-319	ジュニバー	ミス コロンバス	29,709	45	17	0.18	22	0.28	72
38	H-314	イーエル	バイ クリストファー エバ	29,356	200	27	0.13	15	0.11	82
39	HB-53	ローマン	デール クリスタル カウント	28,756	193	20	0.04	18	0.14	99
40	H-313	2 ウィロー	テラス エフ フレンド イーティー	26,835	389	33	-0.02	8	-0.08	70
41	H-275	ハッピー	リバー テンボ	26,793	443	41	0.03	3	-0.16	95
42	HB-89	ミル	アールモ어 リミター イーティー	26,574	246	25	0.05	13	0.05	62
43	H-515	デスク	ホーム ドリーマー	25,615	212	28	0.13	11	0.04	64
44	HB-55	ライン	ハート アイバンホー コネクション	25,206	215	17	-0.03	15	0.10	96
45	HB-42	ホワイト	バーチ オードリー チーフ	24,983	269	25	0.01	11	0.02	97
46	HB-87	エー	ウー トゥイン クリスタル エレベーション イーティー	24,026	243	34	0.16	6	-0.03	97
47	H-258	ビッグ	ランド アストロナウト イーティー	21,129	177	18	0.04	11	0.06	98
48	HB-74	ライン	ハート サー ダービー イーティー	20,750	336	29	-0.01	4	-0.11	95
49	HB-69	ボンド	ヘイブ アリストラット イーティー	20,709	158	14	0.00	13	0.09	82
50	H-312	チャ	ベル シング マックスメーカー	20,484	223	22	0.03	8	0.00	59
51	HB-77	ブラウ	ンデール コンダクター イーティー	20,081	200	15	-0.03	11	0.05	80
52	J-63	ミリー	エス ダッチョー ホンチョー	18,727	77	9	0.03	14	0.15	62
53	H-315	ウィ	ローリー ダニー ボーイ	17,790	240	21	-0.01	6	-0.04	79
54	HB-82	エー	アイバンホーズ ジュウエラー イーティー	15,429	358	19	-0.17	3	-0.14	80
55	H-514	ニツ	ポニア アスピレーション イーティー	15,238	229	22	0.02	3	-0.07	73
56	HB-57	イー	ストランド エレベーション	14,291	72	12	0.07	8	0.08	96
57	HB-91	ドリー	ムストリート ガンサー イーティー	13,668	2	9	0.12	10	0.14	63
58	P48-27	ロング	フィールド テルスター	10,811	225	17	-0.05	1	-0.10	99
59	HB-85	ピツ	カーツ テンボ マース イーティー	9,589	18	10	0.11	5	0.06	85
60	HB-84	ラント	ランド マット スノーマン	5,911	-19	2	0.05	5	0.08	68
61	HB-95	ミル	アールモ어 ロクシーマット イーティー	1,500	-150	-6	0.11	6	0.16	59
62	HB-60	ラグ	アップル ファンデーション テルスター	-3,058	-41	-8	-0.07	1	0.04	96

北海道配分32,248トン



中央酪農会議は十月二十九日、東京で生乳指定団体長会議を聞き、今年度下期の生乳計画生産で上積み増産する生乳六万六千トン（特別調整乳）の都道府県配分を行い、北海道は四十九分にあたる三万二千二百四十八トンの配分を受けた。小幅であっても増産基調への転換は、酪農の生産現場にとって久々の朗報で、今年度下期の全国ベース、生乳六万六千トンの別途増産は不足気味になりつつある脱脂粉乳などの加工原料向けに回される。これは上期の飲用乳消費量が全国的に予想を上回って伸び、これを全農が道産生乳の手当て

中央酪農会議は十月二十九日、東京で生乳指定団体長会議を聞き、今年度下期の生乳計画生産で上積み増産する生乳六万六千トン（特別調整乳）の都道府県配分を行い、北海道は四十九分にあたる三万二千二百四十八トンの配分を受けた。小幅であっても増産基調への転換は、酪農の生産現場にとって久々の朗報で、今年度下期の全国ベース、生乳六万六千トンの別途増産は不足気味になりつつある脱脂粉乳などの加工原料向けに回される。これは上期の飲用乳消費量が全国的に予想を上回って伸び、これを全農が道産生乳の手当て

1. 根室管内生乳計画生産配分量

当初配分量 484,165.6トン
 追加配分量 3,389.0トン
 計 487,554.6トン
 一般出荷（当初97%）×0.7%

2. 中標津町農協生乳計画生産配分量

当初配分量 61,343.0トン
 追加配分量 429.0トン
 計 61,772.0トン

することなどで補完したことが加工原料乳不足になっっている。昭和六十二年十一月九日開催の北海道農協酪对本部委員会ホクレン生乳受託販売委員会合同会議で、昭和六十二年下期の生乳計画生産に追加配分量を決め、次により取り進めることになり、当農協でも一般出荷乳量に〇・七%の一律追加配分としました。

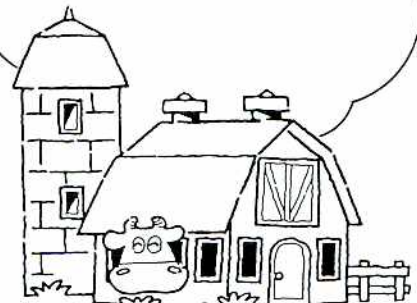
種雄牛評価概要 (精液供給可能種雄牛)

No.	種雄牛	略号	名	牛号	H		P		D		R%
					円	M	SNF	SNF%	F	F%	
1	H-307	キングステッド	バリエント	ジャスティン	81,986	695	72	0.13	42	0.21	82
2	H-302	ウードバイン	エレベーション	ナイト	78,208	1,009	85	-0.05	29	-0.10	99
3	H-511	カーリンメーヤー	コーディー	イーティー	77,294	853	74	-0.02	34	0.04	98
4	HB-88	フェイアーク	ベル	メイアー	76,413	804	77	0.07	33	0.05	91
5	H-311	カーリンメーヤー	リバティ	ベル	73,463	823	70	-0.03	33	0.04	88
6	H-509	ケーエフ	アイバンホー	チーフ	70,084	875	75	-0.03	27	-0.06	97
7	H-507	フィッシャー	プレース	マンデイ	69,878	858	83	0.09	23	-0.10	99
8	HB-56	ウードバイン	エンペラー	フタゴ	69,086	1,112	94	-0.05	14	-0.31	99
9	T-1	ハノーバー	ヒル	トリプル	64,568	682	61	0.00	30	0.06	96
10	H-297	エクセレス	ポリ	アンテシベーション	60,729	493	47	0.04	34	0.21	99
11	J-66	ハイアビュー	マット	チーフ	58,891	550	53	0.06	29	0.12	93
12	H-252	ジュー	エー	アラリアンス	58,180	562	50	0.01	29	0.12	97
13	HB-50	タイロー	タイディ	エレベーション	54,243	562	57	0.09	23	0.03	99
14	H-301	ブラウンデール	ダブル	スレット	51,807	403	36	0.00	31	0.22	91
15	HB-78	ジメトカーフ	バリエント	ミステイマックス	50,820	414	45	0.11	26	0.15	98
16	H-305	アイバンホー	クロス	エレベーション	50,326	681	51	-0.12	20	-0.06	92
17	H-288	バーウッド	プリンス	バリエント	48,142	449	42	0.04	24	0.10	99
18	HB-76	ラインハート	ダンテ		46,469	622	52	-0.04	16	-0.08	96
19	H-316	オツバーマン	トニー	イーティー	46,375	479	44	0.02	21	0.05	60
20	HB-83	ジョウオル	ジー	エーシー	43,493	428	41	0.04	21	0.07	95
21	HB-16	スカグベール	ボールド	コンフィダンス	40,725	488	47	0.05	14	-0.05	99
22	HB-72	グリーンミラー	ラグアップル	エレベーション	39,808	622	49	-0.08	11	-0.15	97
23	HB-31	ヘイセン	リフレクター		39,674	354	36	0.07	19	0.09	89
24	H-296	リバーデル	サー	ケイ	39,482	636	41	-0.19	14	-0.12	88
25	HB-93	ストリクラー	スター	ライト	37,886	191	27	0.14	24	0.23	80
26	H-290	ストレート	バイン	リビート	37,144	371	33	0.00	18	0.06	99
27	H-283	エアパワー	ジャッキー	アチーブメント	36,950	298	33	0.08	19	0.11	99
28	H-300	ジメトカーフ	バリエント	マット	35,853	250	30	0.11	20	0.14	99
29	HB-70	ドナデール	クリエーション		34,681	282	27	0.02	20	0.13	99
30	H-310	ウードバイン	エレベーション	ベル	33,069	657	51	-0.09	3	-0.27	99
31	H-245	ブラウンデール	サー	クリストファー	32,299	485	36	-0.09	11	-0.09	99

ミルカー一点検整備 講習会を行う

11月3日、11月30日

講師 北海道畜産機器サービス
松原 光則氏



いま先進各国は、E.C.、ヨーロッパ、北アメリカ、オセアニア、そして日本のいずれの地域、いずれの国を問わず、いちように牛乳、乳製品の過剰生産に悩んでいるが、乳質については厳しい規則を行いながら日本の市場をさうかがい国際競争は一段と険しく日本の酪農を圧迫している。国内では消費者ニーズはますます多様化、生乳のより高度の乳質と、今後予想される広域流通、他産地との競争も配慮し

なければならぬ。衛生的乳質改善向上をめざす上で欠くことのないミルカーは酪農家にとって最も大切な機械です。ミルカーの点検整備の前に北海道畜産機器サービス、松原光則氏にミルカー改善整備、搾乳時間、乳量、乳成分、体細胞数の変化などの改善効果、ミルカーを正しく整備し正しく使うことが大切なことを具体的に講習会を行った。

府県視察 研修報告

依橋 佐々木 昭雄



中標津の牛、府県でも活躍中!!

府県乳牛清流視察研修に十一月十日から三泊四日の日程で研修して来たので報告致します。この事業も今年で四回目を数え同志会員、組合員にも乳牛清流が理解されて来た様に思われます。目的は地酒を飲むためにではありません。厳しい酪農情勢が続く中で、個体販売を少しでも有利に進める為と、自分達の牛が府県に行つてどの様な活躍をして居るか「生」の声を聞きたく参加しました。視察先は岐阜県飛騨高山と愛知県経済連で、まず先に飛騨高山について報告します。高山は取引を始めてさほど

長い年数ではないのですが、六十一年に多勢の青年達が中標津に視察に来られたことがあり、第一線で働いている人達で岐阜より特急で三時間余り、普通汽車に乗る事のない私達には三時間は非常に過酷な時間でした。夜八時に高山に到着し、地元の青年部が歓迎会の用意を下さるとの事で、夜食もそこそこに会場に向う。交流会では高山の青

年部が十八名程参加され、自己紹介から始まり、話の中は経営の第一線で働いている人、又は、学校を卒業後就農している人達である。飛騨酪農協同組合は、八十三戸の組合員で構成されており、乳検も五十戸の農家が加入し、行なわれている。会員の中では搾乳だけでなく、(トマト、カップ)等も取り入れている。特にトマトは非常に収益が高

く面白いとのことでした。肉も和牛、乳廃、それとオーストラリアよりマリーグレイと言う、北海道ではあまり聞いた事のない品種を輸入している。乳質については、市乳地帯であるので細菌数三十万でオーバーすると出荷停止になる最初はかなり低抗があつたようであるが、自分達の経営を守る為もあるので、各自が卒先して行なつたと言われた。中には細菌数十万でも対応できると言う会員もいて、十分見習わなければならぬと思う。乳価は脂肪三・五%、無脂固型八・五%で夏場が百十円、冬場が百五円で取り引きされ、成分を割ると二等乳となり改善されるまで出荷停止となる。この様な事から、今後導入する牛も乳成分の高い牛が欲しいとの事でした。余り遅くならないうちにと交流会を解散した。二日目は酪農協の田中副組合長より農協の概略の説明を受け

昭和六十一年

計画生産超過乳

(過払乳代)の支払い

昭和六十一年度計画生産超過乳は金道で二十六農協、一五〇二七三、四kg、過払乳代返還の処置をとられ精算されましたので、下記のとおり十一月二十四日支払いました。

昭和61年度過払乳代の精算

1、精算金額	10,774,730円
内訳 (1)過払返還乳代	20,800,130円
(2)飼料用全粉代金	10,025,400円
2、精算対象乳量(61年度計画内受託1等乳量)	2,539,691,607,7kg
3、精算単価	0,004,242,534円/kg
4、中標津町農協61年度計画内受託1等乳量	62,993,259,7kg
精算金額	267.251円



た。この中で特に目を引いたのは、市販の牛乳販売である。私達に馴染みの牛乳は紙パックに入っているが、ここは瓶で販売されており、その理由としては宅配を中心に行っているからで、消費から直接「生」の声が聞けると、安定した量が販売出来るからです。又、他のメーカーは安売りをしますが、この飛驒牛乳は絶体に安売りはせず、「ブランド品」として売っているとの事です。三・五%の基準になつてから、牛乳本来の味が分つて消費が伸びて来ると、熱っぽく話してくれたのが印象に残っている。

共進会について簡単に述べます。規模は一市四町の共進会で、各自が予選を通過した牛を出品していた。頭数はやはり内地の共進会の感じと、各部ごとの審査が約一時間もあり、審査講評は別に行なうとの事で、人も牛も一時間もコンクリートの上で待たされる。審査員が四人もいて、何をしていいのかと感じた次第でした。若牛の中で全道共進会でも上位に行くよふな良い牛が目を引き、横で和牛の審査が行なわれていたが、どれが良い牛なのかさっぱり分らないとの参加者の感想であった。午後から牧場視察に入り

初回は、今年の春、初めて中標津の牛が入った高山でも一、二番目に大きい牧場で、五頭の初妊牛は皆成績が良く、日量で三十kgは出ていると言つた中に三本乳の牛もいたが、これは初妊の場合仕方がないが、八kgは搾れると言つ、私達が見ても乳房や体もしっかりしているの、高山でも頑張つて行けると思う。この牧場の特色は、全頭に和牛の種牛を付けているとの事で、説明を聞いている時は、続けてすぐに中標津牛を導入する様な話ではなかったが、帰り際に土産にとミルク酒を出すと、「オーこれは」と喜んで下さり、それで早急に五頭送って欲しいと言われ、私達も嬉しくなりました。それにしても「酒の力」とはすごい物だと車の中で感心し合った。次の牧場は留守で話を聞く事が出来なかったが、中標津の牛に印を付けてあったので、この牛もかなり乳量があると思つた。次は、全て自家生産牛で飼育されている農家を見た

のですが、やはり中標津から行った牛が優秀で、比較にならない様である。最後に案内者の田中さんの牧場であるが、中標津からの牛が結構多かった。導入初めは量を多く思ひH B五十六の子を求めた事もあって、脂肪が下がり、今年の夏は大変苦労した様子でした。今後、導入に当っては乳成分の高い牛を送って欲しいと、くれぐれも頼まれました。全体的に見て、中標津の牛はかなり働いていると思う、しかし、価格を見ると六十万位の牛も四十五、六万の牛も、ほとんど違いが無いと言う。私達も高価な牛を気使つて作るよりも、俗に言う普通程度の牛を作つて売つた方が安心できる様な気がした。

次に愛知経済連を視察したが、取引が直接農協、農家でないので飛驒地区より親近感が無い感じで、一戸の牧場を見たが、北海道の牛はここでも十分働いていた。

最後にまとめとして、私達が経営を続ける上で、個人販売はかなりのウエートを占めるので、その地方、地方に合った牛作り、価格の設定をしなければならぬのではないかと、又、高山地区の様に直接生産者とコミニケーションを持てる様な取り引、交流をして行くべきだと思います。

昭和六十一年度
生乳販売共計勘定
残余金の支払い

昭和六十一年度生乳販売共計勘定完了に伴いまして残余金の返戻がありましたので下記ののとおり、十一月二十四日支払いしました。

昭和61年度販売共計勘定残余金

1、返戻金額	127,208,557円
内訳 (1)酪農対策金(道外上積金)	20,335,115円
(2)生乳販売調整金	7,129,608円
(3)飲用牛乳消費拡大事業資金	81,034,073円
(4)道産チーズ販売対策費	18,709,761円
2、返戻対象乳量(61年度受託1等乳量)	2,539,996.649,1kg
3、返戻単価	0.050082175円/kg
4、中標津町農協61年度受託乳量並	62,993,259,7kg
返戻金額	3,154,839円

第二十七回 根室地区農協婦人部大会が開催される

去る十一月五、六日の両日養老牛温泉ホテル藤屋に於いて根室地区農協婦人部大会が開催されました。今回で二十七回をかぞえた本大会。婦人部活動を通じて積極的に農業経営に参加しよう。のテーマのもとに「組織」「農業」「生活・健康」「若妻」の四つの分科会に別れての討議も例年になく積極的な意見交換が行なわれました。

分科会終了後は、北海道農協学校非常勤講師武田惺氏を講師にむかえ、農業経営における婦人の役割」と題しお話をいただきましたが、みんな真剣に耳を



婦人部活動を通じ積極的に農業経営に参加しましょう

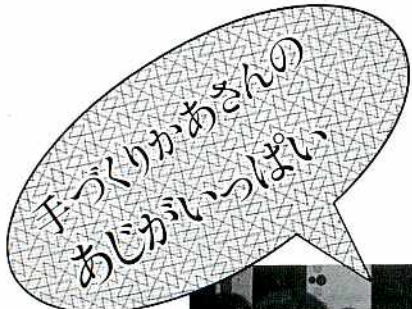
傾けておりました。

翌日の本大会では各分科会の報告の後全体討議が行なわれました。全体討議では、消費者と一緒に料理講習会を実施する等積極的に牛乳、乳製品のPRを図ろう。農協へのお客様には必ず牛乳を出し、貯金窓口のお客様への粗品も乳製品を使つたらどうか。また、婦人の声を農業経営にと質疑応答がされ、最後に申し合わせの採択がなされ閉会致しました。尚、分科会の報告申し合わせについては次の通りです。

- 一、婦人部組織の活性化をはかる為に身近な班活動とグループ活動の強化に努めましょう。
- 一、生産者自から牛乳、乳製品の消費拡大に努めましょう。
- 一、バランスのとれた食生活をし、年に一度の巡回ドックを受け病気の早期発見に努めましょう。
- 一、婦人部の中に魅力ある若妻部会を確立しましょう。

中標津町公民館を会場に十一月二十七日農村婦人講座が開催されました。午前中は北農中央会中標津支所長石橋孝一氏より「社会の移り変わり」と題し、社会、生活、食卓からだ、そして女性の移り変わりについて、また、私達女性は今何を期待されているのか講演され、参加した婦人達は真剣に講演を聞いておりました。

午後からは「かあ



農村婦人講座開催

さんの味じまん腕じまん」として、自家生産野菜で作った漬物や煮込み風牛乳豆腐、ハンバーグやチーズフォンデュ等乳製品を使つた料理をはじめドライフラワーやリフォーム等の作品がそれぞれ紹介されました。



既製品が多い昨今ですが、かあさんの味がさらに普及するよう期待したいものです。

3・6・9のつく日は牛乳の日 若手経済人が ミルクサミットを開催



ミルクで乾杯!!

「ミルクを飲んで根室管内の景気を良くする会」(上野勝侑会長)が去る十一月十九日、ウエディングプラザ寿宴で、「第一回、ミルク・サミット」を開催した。

ミルク党は、北海道のおいしいミルクを飲んで、健康で豊かな道民生活の向上と、消費拡大による経済の活性化を目指すもので、既に札幌では「ミルクを飲んで北海道の景気を良くする会」(伊藤隆一発起人代表)が結成されており、帯広でも「ミルクランド十勝を励ます会」があり、中標津は三番目となる。

今後、フォーラム、パーティー等、関係団体と連携したミルク、乳製品のPRに務める計画。また、工藤英一酪農学園大助教が、三、六、九

九のつく月に道民一人ひとりがミルクを飲む事による経済効果を講演、ミルクで乾杯し宴会に入った。会場では、各種牛乳料理やミルク酒、牛乳等がならべられ、たいへんなにごわいとなった。

若手経済人が発起人となったこの「ミルクを飲んで根室



応援出演のKIKI

管内の景気を良くする会」は、地域の主要産業である農業の低迷が地域経済に影響を及ぼし、やがては崩壊につながるという視点から立ち上った点で注目される。今後はさらに異業種間の連携を取りながら地域ぐるみの運動を進める事が大切であるが、消費拡大運動に弾みをつけばと期待される。

「配合飼料十一月、十二月分 対策される」

日ごろ系統事業に協力を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、系統配合飼料の需要期対策として、十一月二日より十二月末日迄の出荷実績に対し、トン当り二、五〇〇円

の対策がされますのでおしらせ致します。



昭和62年度 出荷乳量実績表

(61.4.1~62.11.30)

	出 荷 乳 量		前 年 比 (%)	
	61 年	62 年		
4 月	5,090,083.3	5,028,668.9	98.8	
5 月	5,658,333.0	5,682,462.1	100.4	
6 月	6,104,848.7	6,128,775.9	100.4	
7 月	6,176,869.5	6,085,221.1	98.5	
8 月	6,096,705.9	6,048,715.7	99.2	
9 月	5,692,194.7	5,739,070.2	100.8	
10 月	5,517,240.1	5,666,153.4	102.7	
11 月	上旬	1,633,475.5	1,697,268.0	103.9
	中旬	1,584,995.5	1,642,423.7	103.6
	下旬	1,567,340.7	1,622,437.9	103.5
月 計	4,785,811.7	4,962,129.6	103.7	
累 計	45,122,086.9	45,341,196.9	100.5	

理事会

の経過

第十回理事会

開催月日 十一月四日

開催場所 農協中会議室

〈議案〉

- 一、昭和六十二年九月末損益統制計画について。
- 二、固定資産(九、〇〇七千円)の取得について。
- 三、第十一回根室管内農業賞の候補者推せんについて。
- 四、給油所の業務体制について。
- 五、乳質ペナルテイの改定について。
- 六、昭和六十二年度、制度資金の追加申込みについて。(一六、三六〇千円)
- 七、後継者結婚資金の貸付限度額の引き上げ、並びに利率の改定について。
- 貸付限度額、二〇〇万円
- 貸付期限、八年以内
- 貸付利率、三・五%

- 八、災害工事復旧事業の実施について。
- 九、根室生産連への出資金の増資について。

中標津空港ビルKKへの出資金(迂回)として増資。増資金額、五九万円
各議案が原案どおり決まりました。

〈協議事項〉

- 一、組勘取引中間協議について。
- 二、肉牛生産センターの草地整備について。
- 三、黒毛和種Fの取引価格について。
- 最低三〇kgまで哺育例、F1オス、体重×時価+一万円。
- 四、澱粉粕の価格改定について。トン当り、二〇〇円。
- 五、地域農業振興計画、農協経営五カ条計画の策定審議委員、並びに審議事項について。
- 次の皆さんに委嘱します。
今井照男、古沢翠、山本清、亀代務、中司哲雄、土井上

- 信一、高平幸夫、高橋勝義、藤田清、太田直行、峰松秀樹、中浦健雄、長正路清、安田稔、藤井美智夫、国見正則、遠藤春子、杉本桂子、上原徳保、長縄弘、横田国雄

六、ジャガイモシストセンチュウの経過を今後の対応について。

七、昭和六十二年度、生乳実績と下期(十月〜二月)の生乳計画生産の方策について。十一月に個人別調査を行う。

〈報告事項〉

- 一、定制自治監査の監査報告について。
- 二、山林の立木売却について。
- 三、澱粉工場の操業状況について。
- 四、畑作物価格の決定について。
- 五、昭和六十一年産、共計澱粉の価格について。
一袋当り、三、六四三円十七銭
- 六、一日皆貯金の実績について。

七、貯金者の研修旅行の実施について。

八、農村地域バター・チーズ消費拡大について。
九、ホクレン営農対策懇談会について。

十、流通開発班の経過について。

十一、特別調整乳(六万六千トン)の情勢について。

第十一回理事会

開催月日 十一月二十五日

開催場所 農協中会議室

〈議案〉

- 一、昭和六十一年産、共計澱粉の精算について。
- 二、昭和六十二年産、共計澱粉の生産物金融貸付について。一袋、三、一五〇円、利率、年、六・五%
- 三、営農資材特別対策について。
- 四、生乳検査協会へ移行による検査料について。
- 五、就業規則の変更について。
- 六、昭和六十二年、生乳計画生産の第二次配分について。

各議案を審議し、決定しました。

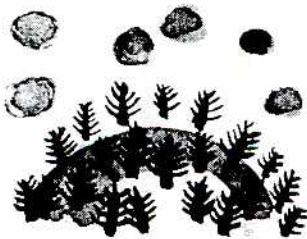
〈協議事項〉
一、シストセンチュウの対策について。

〈報告事項〉

一、桜ヶ丘給油所の落成式について。

二、澱粉工場の操業終了について。十一月二十三日、正午で受入終了。

三、昭和六十一年度販売共計勘定完了に伴う残余金の返戻、並びに過払乳代の精算について。



62年10月乳成分乳代単価ベスト10

順位	脂 肪 率	%	無脂固形分率	%	乳 代 単 価	円
1位	中村敏夫	4.09	佐藤 拡	8.87	中村敏夫	84.29
2位	佐々木繁雄	4.03	下川原政市	8.86	酒井清志	83.00
3位	大木敏夫	4.02	白田慶和	8.85	大野富夫	82.84
4位	大野富夫	3.98	井上芳行	8.83	佐々木繁雄	82.74
5位	酒井清志	3.98	滝場慎二	8.80	佐藤一広	82.62
6位	持広昭	3.97	久我良夫	8.80	久保栄興	82.62
7位	山本政紀	3.96	遠藤弘成	8.78	大木敏夫	82.58
8位	笠原良夫	3.96	久保栄興	8.77	吉田正行	82.44
9位	吉田正行	3.94	花川 稔	8.76	花尻武夫	82.44
10位	八木原明治郎	3.94	斉藤 靖	8.76	山本優文	82.40
			青木フサ子	8.76		
平均		3.60		8.53		78.73
最低		3.26		8.14		74.39

昭和62年度 合乳細菌数、細胞数検査成績 (4月~10月)

昭和62年4~10月分合乳細菌数、細胞数検査結果は下記の通りです。乳質向上に努力を!!

区分 地区	細菌 数						細胞 数				
	30万以下	31~50	51~100	101~200	201~400	400万以上	30万以下	31~50	51~100	101~200	200万以上
当 幌	525 (96.3)	10 (1.8)	9 (1.7)	1 (0.2)			442 (81.1)	60 (11.0)	40 (7.3)	2 (0.4)	1 (0.2)
俣 落	869 (94.0)	20 (2.2)	26 (2.8)	5 (0.5)	3 (0.3)	1 (0.1)	696 (75.3)	169 (18.3)	59 (6.4)		
中標津	890 (94.2)	24 (2.5)	21 (2.2)	6 (0.6)	4 (0.4)		740 (78.3)	133 (14.1)	63 (6.7)	8 (0.8)	1 (0.1)
開 陽	610 (96.8)	12 (1.9)	7 (1.1)		1 (0.2)		461 (73.2)	107 (17.0)	59 (9.4)	3 (0.5)	
俵 橋	889 (94.1)	25 (2.6)	19 (2.0)	9 (1.0)	2 (0.2)	1 (0.1)	725 (76.7)	147 (15.6)	73 (7.7)		
武 佐	976 (94.8)	20 (1.9)	22 (2.1)	7 (0.7)	3 (0.3)	1 (0.1)	785 (76.3)	168 (16.3)	72 (7.0)	4 (0.4)	
第2俣落	928 (94.0)	29 (2.9)	20 (2.0)	7 (0.7)	2 (0.2)	1 (0.1)	747 (75.7)	172 (17.4)	66 (6.7)	2 (0.2)	
合 計	5,687 (94.7)	140 (2.3)	124 (2.1)	35 (0.6)	15 (0.2)	4 (0.1)	4,596 (76.5)	956 (15.9)	432 (7.2)	19 (0.3)	2

北海道生乳検査協会

お知らせ 細菌、細胞検査成績別途添付

11月分細菌、細胞検査成績から「のうきょうなかしべつ」の紙面掲載を省き別途印刷し配布いたします。

年末の業務日程

お知らせ

業 務	月日(曜日)	営 業 時 間	
一 般 業 務	12.30(水)	午後4時30分 で終了	
貯 金・クミ カン・カワセ	12.31(木)	午後3時 で終了	
A T M (現金自動受 入・支払機)	12.31(木)	午後6時 で終了	
ス ト ア	12.31(木)	午後1時 で閉店	13日(日)20日 (日)27日(日)は 営業いたし ます。
ス タ ン ド	12.31(木)	午後1時 で閉店	27日(日)は 営業いたし ます。
人 工 授 精	12.31(木)	受付時間 午前10時 まで	



あっという間の一年でした。
12年後にまた……。

11月の 組合日誌

- 4日 第10回理事会
- 5日 農林公庫資金検査
- 10日 内部審査
- 13日 ホクレン営農対策懇談会
- 16日 酪対役員会
- 17日 第6回管理購買委員会
- ~20日 税務署検査
- 21日 乳牛改良同志会役員会
- 24日 第6回営農委員会
- 25日 第11回理事会
- 30日 畑対役員会



「主人との出会いですか？くされ
縁ですヨ。」と、明るく話す今月の表紙写
真は、開陽地区の国見祐子さんです。
結婚してもうすぐ十年目という祐子さん。現在は女
の子二人と男の子一人の三人のお母さんです。趣味は手芸だ
そうですが家事、育児に忙しく今は休息しているそうです。
わかく見える祐子さんとちよつと(?)おちついてみえる
ご主人正則さんというご夫婦。元氣いっぱいの子供達に囲ま
れて幸せいっぱいの若奥さんでした。

表紙の
写真

編 集 後 記

いよいよ「師走」、今年も、
悪天候も続いて、粗飼料確
保、農作物の生育に少な
からず影響が出た。農畜産物
輸入自由化の嵐も吹き荒れ、
農業情勢に暗雲が立ちこめ
ている。しかし、一方では、
開陽台での「ミルクキャン
ペーン」、生産者自づから経
営する「ミルク・レストラン
」牧舎の開店、ミルクを飲
んで根室管内の景気を良く
する会の「ミルク・サミツ
ト」等は多方面に反響を及
ぼしたようだ。青年部の「じ
やがいも伯爵まつり」は、よ
り地域の人達に親しまれる
ものに、という考えから来
年は、Aセンター草地进行
する。乳質も厳しさを増し
て来た、良質牛乳は、乳業メ
ーカーも、そして消費者も
求めているのは事実、来た
るべき農業情勢に立ち遅れ
てはならない。
師走は、すべての事を「為
果す」月なのだそうだが、私
はどうも色々な事を「し忘
れ」そう。